

神のプリンス：ダビデの生涯 ④

イントロダクション | 「ダビデのコミュニティ」

ダビデと彼のコミュニティについて書いている今日の聖書から、王であるイエスと共にある私たちのコミュニティや人間関係について学びましょう。第1に、イエスのコミュニティである私たちは何者でしょうか。第2に、ダビデを王とするコミュニティから、イエスを王とするコミュニティの役割や使命について見ていきましょう。最後に、ダビデのコミュニティが放浪生活を余儀なくされてもヴィジョンを失わなかったことから、私たちの希望やヴィジョンについて考えたいと思います。私たちのコミュニティのアイデンティティ（性質）、ミッション（使命）、ヴィジョン（希望）です。

聖書 | I サムエル記 22 章 1-2 節、23 章 1-17 節

22:1 ダビデはそこを去って、アドラムのほら穴に避難した。彼の兄弟たちや、彼の父の家のみなのが、これを聞いて、そのダビデのところへと下って来た。2 また、困窮している者、負債のある者、不満のある者たちもみな、彼のところへ集まって来たので、ダビデは彼らの長となった。こうして、約四百人の者が彼とともにいるようになった。

23:1 その後、ダビデに次のような知らせがあった。「今、ペリシテ人がケイラを攻めて、打ち場を略奪しています。」2 そこでダビデは主に伺って言った。「私が行って、このペリシテ人を打つべきでしょうか。」主はダビデに仰せられた。「行け。ペリシテ人を打ち、ケイラを救え。」3 しかし、ダビデの部下は彼に言った。「ご覧のとおり、私たちは、ここユダにいてさえ、恐れているのに、ケイラのペリシテ人の陣地に向かって行けるでしょうか。」4 ダビデはもう一度、主に伺った。すると主は答えて言われた。「さあ、ケイラに下って行け。わたしがペリシテ人をあなたの手に渡すから。」5 ダビデとその部下はケイラに行き、ペリシテ人と戦い、彼らの家畜を連れ去り、ペリシテ人を打って大損害を与えた。こうしてダビデはケイラの住民を救った。6 アヒメレクの子エブヤタルがケイラのダビデのもとに逃げて来たとき、彼はエポデを携えていた。7 一方、ダビデがケイラに行ったことがサウルに知らされると、サウルは、「神は彼を私の手に渡された。ダビデはとびらとかんぬきのある町に入って、自分自身を閉じ込めてしまったからだ」と言った。8 そこでサウルは民をみな呼び集め、ケイラへ下って行き、ダビデとその部下を攻めて封じ込めようとした。9 ダビデはサウルが自分に害を加えようとしているのを知り、祭司エブヤタルに言った。「エポデを持って来なさい。」10 そしてダビデは言った。「イスラエルの神、主よ。あなたのしもべは、サウルがケイラに来て、私のことで、この町を破壊しようとしていることを確かに聞きました。11 ケイラの者たちは私を彼の手に引き渡すでしょうか。サウルは、あなたのしもべが聞いたとおりに下って来るでしょうか。イスラエルの神、主よ。どうか、あなたのしもべにお告げください。」主は仰せられた。「彼は下って来る。」12 ダビデは言った。「ケイラの者たちは、私と私の部下をサウルの手に引き渡すでしょうか。」主は仰せられた。「彼らは引き渡す。」13 そこでダビデとその部下およそ六百人はすぐに、ケイラから出て行き、そこをさまよった。ダビデがケイラからのがれたことがサウルに告げられると、サウルは討伐をやめた。14 ダビデは荒野や要害に宿ったり、ジフの荒野の山地に宿ったりした。サウルはいつもダビデを追ったが、神はダビデをサウルの手に渡さなかった。15 ダビデは、サウルが自分のいのちをねらって出て来たので恐れていた。そのときダビデはジフの荒野のホレシュにいた。16 サウルの子ヨナタンは、ホレシュのダビデのところに来て、神の御名によってダビデをカづけた。17 彼はダビデに言った。「恐れることはありません。私の父サウルの手があなたの身に及ぶことはないからです。あなたこそ、イスラエルの王となり、私はあなたの次に立つ者となるでしょう。私の父サウルもまた、そうなることを確かに知っているのです。」

考えましょう |

- 1: (22:1-2) ダビデのコミュニティについて考えてみましょう。ダビデのもとにはどのような人々が集められていたでしょうか？それはなぜですか？
- 2: イエスのもとに集められた私たちは何者でしょうか？ダビデのコミュニティと照らし合わせて考えてみましょう。
- 3: (23:1-5) ダビデとそのコミュニティが最初に行った事業はどんなことでしたか？そこから彼らの役割や使命は何だと思えますか？

- 4: (23:6-13) サウルがダビデを追って来たとき、ケイラの人々はダビデにどうしようとしましたか？ダビデとそのコミュニティの犠牲的な救出は報われませんでした。あなたもそのような経験がありますか？神はどのように導いてくださったか分かち合いましょう。
- 5: (23:14-17) ダビデと彼の仲間たち 600 人は荒野をさすらう放浪のコミュニティとなりました。彼らは苦しみの中にありましたが、何が彼らの希望となったのでしょうか？
- 6: 荒野をさまようダビデのコミュニティから、私たちの人生や希望や信仰についてどんなことを学ぶことができますか？（参考 ヘブル 11:13）

読みましょう |

ヘブル書 11 章 13 節。

11:13 これらの人々はみな、信仰の人々として死にました。約束のものを手に入れることはありませんでしたが、はるかにそれを見て喜び迎え、地上では旅人であり寄留者であることを告白していたのです。

祈りましょう |

- ・イエスの愛と救いと真理のもとに集められたコミュニティの一員として経験する恵みが、どんなものであるのかを思いめぐらして、神に感謝をささげましょう。
- ・人生には失敗や問題があり、空しく放浪生活をしているように感じる時があるかもしれません。イエスへの信頼とイエスとともにある喜びを回復できるように祈りましょう。

今週～来週のイベント

ランチタイムミーティング (11 九段下、12 霞が関、12 丸の内、13 大手町)
ランチタイムミーティング・パーティ (12)
お弁当プロジェクト (15)
アートフェスティバル BROKEN (15)
聖書の学び「Walk Through The Bible 聖書とともに歩もう」第 10 回 (16)
礼拝 Worship & Fellowship (16「愛の復讐」)
グレースシティゴスペル (17)
ランチタイムミーティング (18 赤坂、19 丸の内、20 大手町)
礼拝 Worship & Fellowship (23「ダビデ王のダンス」)